

会議名 第2回学校運営協議会 議事録

場 所 大阪府立すながわ高等支援学校2階会議室

日 時 令和3年11月10日(水) 10:00~12:00

目 的 学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。

次 第 (1) 校長挨拶

(2) ○協議

「学校経営計画の進捗状況について」

- ・就労に関する企業アンケート結果報告
- ・いじめ対策人権委員会の取り組みについて
- ・令和3年度すながわ高等支援学校広報活動について
- ・「学校経営推進費」進捗状況について

○報告

- ・令和4年度教科書選定について
- ・令和3年度学校教育自己診断の様式について
- ・令和3年授業アンケートについて
- ・保護者の意見について

(3) 意見交換 まとめ

(4) 校長挨拶

学校運営協議会	会長	大阪府教育センター 教育庁ハートフルオフィス	山内 國嗣 様
	副会長	株式会社カネシン オートボックス	辻 昭宏 様
	委員	泉州中障害者就業・生活支援センター	斉喜 祐輔 様
	委員	株式会社サクセス 自立支援推進室長	河本 妙子 様
	委員	泉南市 総合政策部 危機管理課	木津西 博 様
	委員	すながわ高等支援学校PTA会長	高橋 美穂 様
	校長	すながわ高等支援学校校長	土口 千恵子
		すながわ高等支援学校事務局	6名

要約 令和3年度学校経営計画の計画状況について確認されたこと及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- 就労に関する企業アンケート結果報告では、各設問より、卒業生が就労先で一生懸命頑張っている姿が認められているのではないかと評価をいただいた。また設問ごとに自由記述の欄をつけることで、より具体的な意見が聞けるのではないかと助言をいただくことができた。保護者代表の委員からは、「企業が生徒を採用する際にどのような力を重視するかの問いでは、体力面だとおもっていたが労働意欲が一番で驚いた。子どもが仕事に行きだすと本人任せになりがちになる。本人、保護者、企業の意見交換の場ができれば」という意見をいただいた。また委員の方から、就労先への定着率が半年後は9割であるのに対し、1年後には7割にまで下がるという結果を報告いただいた。労働意欲を高め、定着率を上げるためにも現場実習の重要性、マッチングの大切さを確認することができた。会長からは、障がいのある方が働くことで、その企業の企業風土を変える力があるというご意見をいただいた。
- いじめ対策人権委員会の取り組みについては、今年度のいじめに関するアンケートの実施、便り「つばさ」の発行などの取り組みの報告をおこなった。また昨年度から継続して実施している人権教育の取り組みも併せて報告した。同和問題などの人権教育は支援学校では指導が難しい面もあるが、教員の専門性の向上としては大切なことであるご意見をいただいた。また前回行った教職員PTA合同研修での感想として保護者代表の委員より、同和問題などの人権教育は大切な問題ではあるが、映像には衝撃的な場面もあり子どもに見せたくないという思いもあるご意見をいただいた。学校としても貴重な意見として受け止め、事前学習を丁寧に行っていくことで確認することができた。
- 令和3年度すながわ高等支援学校広報活動については、今年度実施した取り組みについて報告した。個別相談会では共生推進教室とブースを並べ、本校および、共生推進教室の取り組みを知ってもらうことができた。今後も、本校と共生推進教室が連携していくことの重要性を確認することができた。
- 「学校経営推進費」進捗状況については、進捗状況の報告を行った。また夏に行われた関西教育ICT展への報告や、12月に実施予定の泉南支援学校小学部と本校3年せいかつサービス科の生徒による交流及び共同学習の実施についても共有し確認することができた。
- 令和4年度教科書選定については、今回選定結果を報告し確認することができた。
- 令和3年度学校教育自己診断の様式については、google フォームを活用し実施することを確認することができた。
- 令和3年授業アンケートについては、生徒名の記入についての必要性の質問があったが、生徒への趣旨を丁寧に伝えるということで確認し共有することができた。

次回開催日 令和4年2月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 後藤 禎行 (令和3年11月12日作成)